

事務事業名	上今井45号線整備事業		所属部局	建設部	単位番号	2014- 900147							
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博							
			所属担当	道路河川担当	担当者名	中込隆行							
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
政策	11	道路網の整備	事業区分	01	一般	08	02	02	020	30			
施策	18	生活関連道路の整備		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業				
				<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	道路法、道路構造令									
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H26 ~ H27 年度)		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			項目(細節)							金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
	1.市の主要幹線道路である楡形11号線と中断している楡形27号線を連結させることにより、多くの市民が働く企業と周辺道路の利便性の向上を図り、地域の活性化に結びつけるため、整備をおこなう。			委託料							3,153		
	2.H26 測量調査設計、用地補償 H27 用地補償、改良舗装工事			公有財産購入費									
				補償、補填及び賠償金									
			計								3,153		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない		
26年度活動内容	測量調査設計、用地取得、物権補償	⇒	名称	単位
27年度活動予定	用地取得、物権補償、道路改良舗装工事L=70m		ア事業用地取得割合	%
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等			イ工事延長の割合	%
市民、道路利用者、企業			ウ用地取得に係る協議回数	回
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
主要幹線へのアクセスを容易にし、多くの市民が働く企業並びに周辺道路の利便性の向上を図り、地域の活性化につなげる。			名称	単位
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)			ア利用者数	人/日
道路通行の利便性と働く場の確保			イ道路計画延長	m
			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
			名称	単位
			ア事業の進捗率	%
			⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
			名称	単位
			ア市内の道路整備状況に満足していると回答した市民の割合	%
			イ市内の就職の機会は、十分だと回答した市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円			1,734	16,500				
		県支出金	千円								
		地方債	千円			1,300	12,800				
		その他	千円								
		一般財源	千円			119	700				
		事業費計(A)	千円	0	0	3,153	30,000	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			4	4				
		延べ業務時間	時間			100	200				
		人件費計(B)	千円	0	0	455	910	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	0	3,608	30,910	0	0	0	0
	活動指標	ア	%			0.0					
		イ	%			0.0					
		ウ	回			10.0					
	対象指標	ア	人/日			4,500.0	4,500.0				
		イ	m			70.0	70.0				
		ウ									
	成果指標	ア	%			40.0	100.0				
		イ									
		ウ									
	上位成果指標	ア	%			43.4	45.0				
		イ	%			6.3	7.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H25年度に地域の活性化を図ると共に、歩行者、通行者双方の安全・安心を確保するため、事業計画された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	企業の県外・海外移転が多くなり、市内の就業先の確保を行う施策が必要となっている。また、道路利用者の安全・安心が要望されている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	関係者から早期に集中的に事業実施するよう要望されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	道路概略設計において、企業の意向や雨水処理などの課題を勘案し、経済的かつ効率的な道路計画をたて、計画延長の減長、構造物の縮小などにより、コスト削減に努めている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	H26年度新規事業のため、改革改善は無。

事務事業名	上今井45号線整備事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民、道路利用者、企業の利便性の向上を図り、地域の活性化につなげる事業であるため、整合性はある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市民、道路利用者及び市民の多くが就業している高額納税企業の確保の観点から妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民、道路利用者、企業の利便性の向上を図り、地域の活性化につなげる事業であるため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をとする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 計画時点で細部にわたり、関係諸所と協議を進めながら、コスト削減と効率的な計画を立てているため、向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 優先順位に基づき、路線ごと整備を行っているため、統合できない。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 企業の転出の可能性や道路利用者の利便性が図れず、地域の減退につながる。 <input type="checkbox"/> 企業転出の可能性があり、市民の就業先が無くなる可能性がある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 計画時点で細部にわたり、関係諸所と協議を進めながら、コスト削減と効率的な計画を立てているため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 他課の協力を得る中で最少必要人数で事業を進めているため、削減する余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民、道路利用者、多くの市民が就業する企業の利便性を図り、地域の活性化につながる事業であるため、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民並びに道路利用者の安全確保と企業の利便性の向上に繋がる事業として、道路位置の選定や事業費の見直しを行い、地権者の理解も得られ、計画が決まったので、引き続き、関係者と協議し、平成27年度に事業完了できるよう進捗を図ること。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑨																					